



## 課題探究学習における「情報収集スキル習得」から「個別テーマ決定」へ

国際コース 2 年生では、4 月 30 日（土）のグローバル課題研究の授業において、情報収集の学習を行い、そのあと 5 月 7 日の同授業で個別研究テーマを決定します。そしてその個別テーマを基に、研究領域に分かれてゼミ学習を展開します。大学の先生や研究生にも指導に関わっていただきます。今回の 4 月 30 日と 5 月 7 日の授業は個別研究テーマを決定する上で非常に重要な位置づけとなっていますのでしっかり取り組みましょう。以下は個別テーマ決定までの学習内容とその目的です。

### 4 月 30 日「情報収集学習」

情報が複雑に混在する現代では、利用目的や利用方法に合わせたメディア選択をすることと同時に、メディアの利用上の注意点を把握することが非常に重要です。情報を見つけ出すための正しい知識と理解を学んでいきます。

#### 学習内容とその目的

##### 手順① **情報媒体の種類と特性を学ぶ**

紙媒体や電子媒体など、情報源の種類は多岐にわたります。それぞれの特徴を知ることによって、これから始める個人研究の調査を深めていけるようにします。各情報媒体にはそれぞれ長所や短所があります。例えば、インターネット等の電子媒体情報は常にアップデートされ、情報のスピードには非常に長けています。一方、論文や参考書等は情報スピードに関してはインターネットに劣るものの、信頼性に関しては非常に高いといった特性を持っています。そのような特性を理解するためにインターネット、新聞、文献（論文）をもとにそれぞれを比較します。どのような種類の情報媒体が、自分が知りたいことに対して有用であるかを発見することは円滑に個人研究を進められるかどうか大きな影響を及ぼします。

##### 手順② **情報媒体の具体的な使用法を学ぶ**

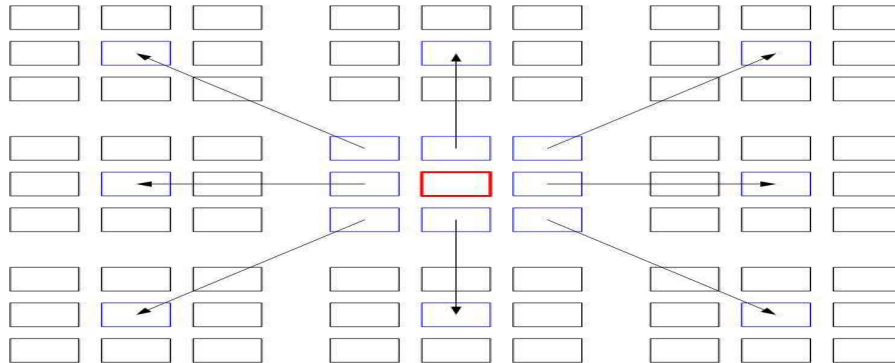
各情報媒体がどういった内容を調べる時に有用か、より高い信頼性が得られるかを学んでいきます。情報の新鮮度が高いが信頼度がそれほど高くないもの（ホームページ等）、新鮮度は高くないが信頼度が高いもの（論文等）、そのような「情報媒体の種類と特性」で学んだ事を踏まえて実際に身の回りにある問題や疑問に対してどのような情報媒体を使えばいいのかを学ぶことを目的とします。

##### 手順③ **図書館利用（NDC マップ）について学ぶ**

個人研究を進めていくうえで、中部大学図書館をはじめ、学校外の図書館を利用する機会が非常に増えることが予想されます。そこで、個人研究を円滑に進めるために図書館で効率的に目的に沿った本を見つける手法（NDC マップ）を学びます。また、紙媒体の情報を使う際には目次、索引、奥引きなどの機能も知っておかなくてはなりません。それらを総合的に学ぶため、実際に学校の図書館へ行き、目的に沿った本を数冊借りてくる実践形式の訓練も行います。

#### 手順④ マンダラートについて学ぶ

マンダラートとは、3×3 マスの表の中心に一つのテーマを置き、そこから8つのアイデアを出して発想を広げていく図の事です。その中心のテーマに関して、どれほど知っているかの確認をすることができ、足りない知識は何であるかを確認することができます。マンダラートを利用し知識を広めたり深めたりすることができるようになることが目的です。



#### 手順⑤ マッピングを行う

マンダラートで得たことをヒントに、思いつくまま自分のテーマから連想できることを書き込んでいき、関連するものを結んでいきマップを作成します。最後にマップを見て自分が何を調べていきたいかを探ります。

以上の手順に沿って個別テーマの青写真を作ることが4月30日の授業の目的です。

## 5月7日「個別テーマ決定」

個別テーマを決定し、個別テーマ研究を進めていくうえでの注意点を学習します。論文形式で個別テーマ研究を進めていきます。そこで、論文と作文の違い等を知り、どのように論文を書き進めていくかを学習します。そして個別テーマをより具体化していきます。

### 1 調べ学習と研究論文の違い

研究論文の書き方の概要を学びます。今まで書いてきたいいわゆる「作文」との違いは何かを明確にし、論文に必要な情報の提示の仕方、構成を学びます。

### 2 研究テーマの決定

次の留意点を確認します

- ① 意義のあるテーマであるか
- ② 半年程度で完成できる内容であるか
- ③ 資料が十分にある内容か

### 3 研究計画書作成

- ① 研究テーマ（大きな問い）
- ② 研究の目的（現状の何を誰のために解決し、どんな未来を創りたいか）
- ③ 先行研究の概略
- ④ 課題の原因、歴史的背景
- ⑤ 具体的な問いと仮説
- ⑥ 研究の方法